

## 平成26年 (2014)

### 看護学専攻

#### 著書および学術論文

1. Uchiyama M. The experience of mammography based on the memoirs of examinees. *Health*. 2014 ; 6 : 1310-1314.
2. Lee Y, Uchiyama M. Evaluation of physical and psychological burden of subjects in mammography. *Breast Imaging Lecture Notes in Computer Science*. 2014 ; 8539, 508-513.
3. 菊永 淳 (訳). 原註 ; 大久保功子, 宮坂道夫 (監訳). 人間科学のためのナラティブ研究法 *Narrative Methods for the Human Sciences* ; Catherine Kohler Riessman (著) 所収. クオリティケア. 2014.
4. Kobayashi Keiko. Changes in Awareness and Care Practices on the part of Public Health Nurses through Participation in an Action Research-based Case Study Group on Child Abuse and Neglect. *Yearbook on Journal of the Japan Society of Nursing Research*. 2014 ; 35-45.
5. 小林恵子, 新田初美, 種村久美, 石黒佳子, 齋藤里佳, 重野光恵, 外川眞由美, 石川玲子, 桑野浩樹, 大戸奈穂子, 山口真希, 長谷川正子. 新潟県乳幼児保健指導の手引 改訂第4版, 新潟県福祉保健部, 2014, 全124頁.
6. Yumi Sato, Junko Yamada, Ikue Kiryu, Narumi Ide, Tomoko Saito and Megumi Yuki. Circumstances and Issues Relating to School Health Management in Brazilian Schools in Japan. *School health*. 2014 ; vol.10 : 9-18.
7. 坂井さゆり. 終末期高齢がん患者の特徴と身体症状のマネジメント. *臨床老年看護*. 2014 ; 21(4) : 28-37.
8. Tatsuya Morita, Keiko Tamura, Etsuko Kusajima, Sayuri Sakai, Masako Kawa, Chizuru Imura, Kaori Ichihara, Mitsunori Miyashita, Takuhiro Yamaguchi, Yosuke Uchitomi. Nurse Education Program on Meaninglessness in Terminally Ill Cancer Patients : A Randomized Controlled Study of a Novel Two-Day Workshop. *Journal of Palliative Medicine*. 2012 ; 17(12) : 1298-1305.
9. 草島悦子, 河 正子, 坂井さゆり, 森田達也. 終末期がん患者の死の不安と希望をめぐる苦悩に対するケアー緩和ケアに従事する多職種のスピリチュアルケア経験に関するインタビュー調査ー. *臨床死生学*. 2014 ; 18/19 : 46 - 57.
10. 坂井さゆり (訳). 第4章 構造分析 ; 大久保功子, 宮坂道夫監訳. 人間科学のためのナラティブ研究法 *Narrative Methods for the Human Sciences* ; Catherine Kohler Riessman (著) 所収. クオリティケア. 2014 ; 172-196.
11. 林はるみ, 定方美恵子, 佐山光子. 生殖補助医療で妊娠した妻をもつ夫の体験. *日本生殖看護学会誌*. 2014 ; 11(1) : 37-44.
12. 藤原直士, 富山智香子, 坂本 信, 山崎芳裕, 李 鎔範, 定方美恵子, 村松芳幸, 齋藤君枝, 住吉智子, 鈴木 力. 学生と教員が学び鍛え合う保健学教育～専門性を理解しあいインタラクティブに学び鍛えあう保健学教育～. *新潟大学高等教育研究*. 2014 ; 1(2) : 1-4.
13. 定方美恵子. 看護学テキストNICE 母性看護学Ⅰ～概論・ライフサイクル～ ; 分担執筆. 第1章4-A母性看護実践の基盤となる理論と概念. 18-22. 第VI章3. 成熟期. 159-193. 合計40頁(総頁数234頁), 南江堂. 2014. 3. 25.
14. 定方美恵子. 改訂新版 母性看護学―役立ち楽しめる構成と内容に挑戦―. 放送大学教材 ; 分担執筆. 第4章 生殖のメカニズム. 71-89. 第5章 妊娠期. 90-112. 第6章 分娩期, 113-133. 第12章 母性看護学における倫理的諸問題, 212-225. 合計77頁(総頁数309頁). 放送大学教育振興会, 2014. 6. 20.
15. 加藤 萌, 住吉智子. プレパレーションに関する診療放射線技師の認識 ―小児を対象とした放射線検査・治療への認識を中心に―. 第44回日本看護学会論文集-小児看護-. 2014 ; 166-169.
16. 帆苺真由美, 黒井未由希, 渡辺広子, 住吉智子. 局所麻酔下で脳血管内治療を受けた患者へのカテーテル

- 前訪問の有効性—患者の心理プロセスに焦点をあてて—。2014；第44回日本看護学会論文集-成人看護Ⅰ-, 145-148.
17. 五十嵐真理, 田中千晶, 住吉智子, 坂本 信, 田中美央, 渡邊タミ子. 看護学生の危険予知に関する研究-小児臨床画像の視線測定と観察の意図-新潟大学保健学雑誌, 2014；11(1), 17-24.
  18. 田中美央, 小寺早紀, 住吉智子. 看護師が重症心身障害児の感情を捉える視点. 2014；第45回日本看護学会論文集-精神看護-, 175-178.
  19. 成田太一, 山崎洋子. 統合失調症者が認識する地域精神保健サービスに関する記述研究, 山梨大看会誌. 2014；12(2)；1-6.
  20. 奥野ひろみ, 五十嵐久人, 高橋宏子, 山崎明美, 石田史織, 成田太一. 公衆衛生看護を学ぶ学生のためのケースメソッド演習の開発とその効果に関する研究. 信州公衛誌, 2014；8(2)：73-79.
  21. 西方真弓, 西原亜矢子, 定方美恵子, 清野由美子, 井越寿美子, 笠井美香子, 佐藤富貴子, 川合 功, 坂本信, 小浦方格, 田邊裕治. 新人看護師の‘観察・判断への気づき’を育てる視線解析を用いた教育プログラムの評価—臨床経験豊富な看護師の‘DVD教材’視聴による気づきの分析—. 新潟大学保健学雑誌. 2014.；11(1)：25～32.
  22. Miyako MIZUTANI, Kensaku KAWAKAMI, Mieko SADAKATA, Koichi KOBAYASHI, Makoto SAKAMOTO. Biomechanical Effects of Push Handle on upper Limbs during Attendant Propelled Wheelchair Ramp Transportation. Journal of ISEM. Vol.14 Special Issue：291-295. 2014.

## 学会発表および研究会発表

1. 加藤真由美, 青木萩子, 齋藤君枝. Identifying problems in bedside hygiene care among Japanese hospitals. 第35回国際ヒューマンケアリング学会. 2014. 5. (京都)
2. 青木萩子, 成澤幸子, 齋藤君枝. レビー小体型認知症の一高齢者女性におけるwandering関連行動と気象との関連. 第29回日本老年精神医学会. 2014. 6. (東京).
3. 青木萩子, 岩佐有華, 齋藤君枝. 福島原発事故後応急仮設住宅で生活する人々の夏季と冬季の体力・体組成の変化—健康相談会参加者を対象に—. 本災害看護学会第16回年次大会. 2014. 8. (東京).
4. 青木萩子, 岩佐有華. 原発避難者の応急仮設住宅居住1年後の生活変化. 第34回日本看護科学学会. 2014. 11. (名古屋).
5. 宮本佑莉恵, 岩佐有華. ICUへ入室した患者が認めるストレス. 第45回日本看護学会 - 急性期看護—学術集会. 2014. 10. (横浜).
6. 岩佐有華, 結城 舞. A県内における救命救急部門に勤務する看護師の抱く終末期ケア困難感の実際—ICUにおける終末期ケア困難感尺度を用いたアンケート結果から—. 平成26年度新潟県看護協会看護学会. 2014. 11. (新潟).
7. 宮本佑莉恵, 岩佐有華. ICU入室患者が感じたストレスを軽減させたこと. 平成26年度新潟県看護協会看護学会. 2014. 11 (新潟).
8. Lee Y, Uchiyama M. Evaluation of physical and psychological burden of subjects in mammography. IWDM 2014 - 12th International Workshop on Breast Imaging, 2014. 7 (Gifu, Japan).
9. 菊永 淳, 宮坂道夫, 大久保功子, 田口めぐみ. 「キャラクター分析」による看護師の自己認識の研究～看護師が語る「根治治療が困難になったがん患者への告知」の分析から～. シンポジウム企画「医療分野の研究におけるナラティブ分析」. 第11回日本質的心理学会大会. 2014. 10. (愛媛).
10. 小坂橋喜久代, 柳奈津子, 近藤由香, 桐山勝枝, 定方美恵子, 内山美枝子, 箕輪千佳, 二神真理子, 小山敦代, 荒木大治, 岡田朱民, 荒川唱子. リラクゼーション法の指導者育成プログラムの構築と講座の実際. 第34回日本看護科学学会学術集会. 2014. 11. (名古屋).
11. 小林恵子, 齋藤智子, 成田太一. 離島漁村に暮らす住民の生活と健康に関する実態調査 (1) —健康行動,

- 主観的健康観と生活満足度の実態－. 日本地域看護学会 第17回学術集会. 2014. 8. (岡山).
12. 坪川トモ子, **小林恵子**, **齋藤智子**. 地域に暮らす精神障害者のピアサポートの内容－地域家族会の会員へのインタビューから－. 日本地域看護学会 第17回学術集会. 2014. 8. (岡山).
  13. 伊藤由香, **小林恵子**, **齋藤智子**, **成田太一**, **関 奈緒**. 一人暮らし高齢者の孤立防止のための地域支援体制構築に向けた取り組み. 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014. 11. (宇都宮).
  14. **小林恵子**, **齋藤智子**, **成田太一**, 伊藤由香, **関 奈緒**. 75歳以上の一人暮らし高齢者の生活満足度－社会的役割, ソーシャルサポートとの関連－. 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014. 11. (宇都宮).
  15. 飯吉令枝, 平澤則子, 藤川あや, **小林恵子**. 介護予防が必要な高齢者を早期発見するための地域住民による見守り項目の活用可能性. 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014. 11. (宇都宮).
  16. **小山千加代**. 老年看護学研究における実践者と研究者との協働, 日本老年看護学会ワークショップ 2014, 2014. 6. 17.
  17. 金子真理子, 小川朝生, 佐々木千幸, **小山千加代**. 急性期病院における認知症看護の現状と課題, 第28回日本総合病院精神医学会, 2014. 11. 28.
  18. **小山千加代**, 水野敏子, 成澤 明, 坂井志麻, 原沢のぞみ, 山田雅子, 鈴木麻美, 井澤玲奈. 訪問看護師が行っている「独り暮らし」高齢者を看取る際の工夫や援助, 第34回日本看護科学学会学術集会, 2014. 11. 30.
  19. 成澤 明, **小山千加代**, 水野敏子, 坂井志麻, 原沢のぞみ, 山田雅子, 鈴木麻美, 井澤玲奈. 「独り暮らし」高齢者の在宅死を可能にするための訪問看護師の考え, 第34回日本看護科学学会学術集会, 2014. 11. 30.
  20. **齋藤智子**, **成田太一**, **小林恵子**. 離島漁村に暮らす住民の生活と健康に関する実態調査 (2)－食品摂取多様性の実態. 日本地域看護学会 第17回学術集会. 2014. 8. (岡山).
  21. 佐藤由美, **齋藤智子**. 都道府県型保健所における市町村保健師人材育成支援の実態 (1)－支援体制の観点から. 第73回日本公衆衛生学会総会, 2014. 10 (栃木).
  22. **齋藤智子**, 佐藤由美. 都道府県型保健所における市町村保健師人材育成支援の実態 (2)－支援方法の観点から. 第73回日本公衆衛生学会総会, 2014. 10 (栃木).
  23. Harue Masaki, Midori Nishiyama, Yasue Hayashi, Nobue Nishida, Nobuko Kawai, Sayuri Sakai, Kazuko Endo. Narrative of Elderly and Families Who participated in the “Healthy Aging Class” for a Better End-of-Life. The 35th International Association for Human Caring Conference. 2014. 5. (京都).
  24. 林 弥江, 正木治恵, 桑田美代子, 吉岡佐知子, 西山みどり, 河井伸子, 松本啓子, 内野良子, **坂井さゆり**, 遠藤和子, 西田伸枝, 長江弘子, 手島 恵. 高齢者の終生期の軌跡－老人看護専門看護師の実践から－. 日本老年看護学会第19回学術集会. 2014. 6. (名古屋).
  25. **坂井さゆり**. スピリチュアルケアと宗教－欧州・日本の緩和ケア実践から－. 日本宗教学会第73回学術大会パネルディスカッション. 2014. 9. (京都).
  26. 木津直美, 小林令奈, 渡辺ひとみ, **坂井さゆり**. 悪性脳腫瘍患者を在宅で介護する家族の困り事と思い. 第45回日本看護学会-在宅看護-. 2014. 10. (山形).
  27. 生駒美穂, 澁澤幸子, **坂井さゆり**. 緩和ケアチームのコーディネーションによる宗教ケアが患者の“生きなやす”きっかけになった一例. 第38回日本死の臨床研究会年次大会2014. 11. (大分).
  28. 小坂橋喜久代, 柳奈津子, 近藤由香, 桐山勝枝, **定方美恵子**, **内山美枝子**, 箕輪千佳, 二神真理子, 小山敦代, 荒木大治, 岡田明民, 荒川唱子: 交流集会 リラクゼーション法の指導者育成プログラムの構築と講座の実際. 第34回日本看護科学学会学術集会講演集, 468, 2014 (名古屋).
  29. 中澤紀代子, **定方美恵子**, **佐山光子**. 死産児と母親の面会をめぐる助産師による看護実践のプロセス. 第16回日本母性看護学会学術集会. 76, 2014 (京都).
  30. 井ノ上玉実, **定方美恵子**, **佐山光子**. 優生保護法制定当時の資料からみたリプロダクティブ・ヘルス/ライツの分析. 第55回日本母性衛生学会. 267, 2014 (千葉).
  31. 脇川恭子, **住吉智子**. 中学生の生活習慣とソーシャルメディア利用との関係, 第61回日本小児保健協会学

- 術集会, 6/21-22, 2014 (福島).
32. 住吉智子, 田中美央, 渡邊タミ子. 育児期の保護者のメディア・リテラシーとその関連要因, 第61回日本小児保健協会学術集会6/21-22, 2014 (福島).
  33. 五十嵐真理, 住吉智子, 田中美央, 渡邊タミ子. 危険因子を含む小児臨床画像における看護学生の視線運動と観察意図-学年別による観察の比較-, 第24回日本小児看護学会学術集会, 7/21-22. (東京).
  34. 関島香代子, 定方美恵子. 子育て期にある女性の活動と睡眠状態. 第55回日本母性衛生学会. 302, 2014 (千葉).
  35. 成田太一, 小林恵子, 齋藤智子. 離島漁村に暮らす住民の生活と健康に関する実態調査 (3) -主観的健康観とソーシャルキャピタルの実態-. 日本地域看護学会 第17回学術集会. 2014. 8. (岡山).
  36. 成田太一, 小林恵子, 齋藤智子. 地域看護学実習における健康教育の実習方法の検討, 新潟看護ケア研究学会第6回学術集会. 2014. 10. (新潟).
  37. 成田太一, 小林恵子, 齋藤智子, 伊藤由香, 関 奈緒. 75歳以上の一人暮らし高齢者の孤独感の実態-IADL, 外出, 交流との関連-. 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014. 11. (宇都宮).
  38. 西方真弓, 関島香代子, 定方美恵子, 佐山光子. 母体・胎児集中治療室に入院したハイリスク妊婦の当事者視点による生活の質の評価. 第28回日本助産学会学術集会. 2014. 3 (長崎).
  39. 西方真弓, 関島香代子, 定方美恵子, 佐山光子. 母体・胎児集中治療室に入院している妊婦の入院生活の実態. 第16回日本母性看護学会学術集会. 2014. 6 (京都).
  40. 山岸友紀, 小林美代子, 西方真弓, 片桐巳晴. 周産期喪失を体験した家族を支えるためのグリーフケアに関するスタッフ向けの情報小冊子の評価. 第55回母性衛生学会学術集会. 2014. 9 (千葉).
  41. 田中美央, 倉田慶子, 宮坂道夫, 西方真弓. 重症心身障害児を育てる母親の育児の支え 専門職による育児の支え. 第40回 日本重症心身障害学会学術集会. 2014. 9 (京都).
  42. 西方真弓, 田中美央, 菊永 淳, 宮坂道夫. 母体・胎児集中治療室に入院したハイリスク妊婦のQOL評価. 日本質的心理学会 第11回大会. 2014. 10 (松山).
  43. 西方真弓, 高橋絵美, 井之川京子, 関島香代子, 定方美恵子, 佐山光子. 母体・胎児集中治療室入院妊婦の当事者視点のQOL評価~充足度と重みづけによる分析~. 第41回新潟母性衛生学会. 2014. 11(新潟).
  44. 水谷 都, 川上健作, 坂本 信, 定方美恵子, 小林公一. 車いすハンドル高さと降板移送をする介助者の上肢負担に関する検討. 第41回日本臨床バイオメカニクス学会, 2014 (奈良).

## 放射線技術科学専攻

### 著書および学術論文

1. Marasinghe JC, Ohkubo M, Kobayashi H, Murao K, Matsumoto T, Sone S, Wada S: Feasible method to assess the performance of a lung cancer CT screening CAD system in clinical practice: Dependence on nodule size and density. International Journal of Medical Physics, Clinical Engineering and Radiation Oncology, 2014, 3, 107-116 published online May 2014 in SciRes. DOI: 10.4236/ijmpcero.2014.320162014.05
2. 山野井理恵, 岡本浩一郎, 河村和紀, 大久保真樹, 鈴木雄治, 中村亨弥: [<sup>15</sup>O]H<sub>2</sub>O OSEM法PET画像でのsubsetとiterationの組み合わせによる画素値の検討: FBP法を基準として. 核医学, 51(4): 373-382, 2014.
3. Masaru Sekiya, Kiyokazu Ebata, Osamu Yamamura: Generation of spontaneous echo contrast non-human blood, Journal of Health Sciences of Niigata University, 11(1), 32-38,2014.3.
4. Takahashi N, Lee Y, Tsai DY, Matsuyama E, Kinoshita T, Ishii K: An automated detection method for the MCA dot sign of acute stroke in unenhanced CT. Radiological Physics and Technology 7(1): 79-88, 2014.
5. 室井僚哉, 李鎔範, 蔡篤儀, 弦巻正樹: 不鋭を含む医用X線画像の自動認識法. 電子情報通信学会技術研究報告113(410): 245-248, 2014.

6. 遠藤駿, 李鎔範, 蔡篤儀, 原武史: ヒトの視覚特性を考慮したフラクタル次元による胸部X線画像の評価. 電子情報通信学会技術研究報告113(410): 331-334, 2014.
7. 遠藤駿, 李鎔範, 蔡篤儀, 原武史: MTF フラクタル次元による X 線画像の画質評価. 日本放射線技術学会雑誌70(3): 250-253, 2014.
8. 室井僚哉, 李鎔範, 蔡篤儀, 弦巻正樹: 医用 X 線画像における不鋭領域の検出法. 日本放射線技術学会雑誌70(3): 254-257, 2014.
9. Lee Y, Uchiyama M: Evaluation of physical and psychological burden of subjects in mammography. Lecture Notes in Computer Science 8539: 508-513, 2014.
10. Saito M, Tsukihara M: Technical note: Exploring the limit for the conversion of energy-subtracted CT number to electron density for high-atomic-number materials. Med. Phys., 41: 071701 (6pp.), 2014.
11. Shibuya M, Takahashi N, Yabe M, Iwamoto K, Hide M. Hereditary angioedema as the cause of death from asphyxia: postmortem computed tomography study. Allergol Int. 2014; 63: 493-4.
12. 高橋直也: 臨床放射線科医にとっての死亡時画像診断のために. 映像情報メディカル. 2014; 46: 70-2
13. 後藤 淳, 天谷吉弘, 泉川卓司, 大家正泰, 葛城美德, 椎谷友博, 菖蒲川由郷, 鈴木 翼, 高橋俊博, 平山繁, 吉田秀義, 内藤 眞, 「原発事故被災地域における放射線量マッピングに関する技術開発・運用とデータ解析に関する研究会報告書」 GPS 連動型放射線測定システムBISHAMON の測定結果と開発状況について/P.132 KURRI-KR(CD)-47 2014. 京都大学原子炉実験所 研究報告出版
14. 菖蒲川由郷, 後藤 淳, 泉川卓司, 天谷吉宏, 大家正泰, 高橋俊博, 吉田秀義, 葛城美德, 平山 繁, 鈴木 翼, 齋藤玲子, 内藤 眞. 南相馬市における放射線線量の測定とGISを用いた視覚化. 新潟大学災害・復興科学研究所年報 3. 132-133, 2014-12.
15. 坂本 信, 春日勇人, 坂井幸子, 小林公一, 遠藤英昭: マイクロCTを用いた三次元歯軸の評価, 臨床バイオメカニクス, 35巻, 99-104, 2014.
16. 坂本 信, 小林公一: 関節接触応力の理論モデルの解析, 臨床バイオメカニクス, 35巻, 387-394, 2014.
17. 本江香澄, 佐藤 卓, 児玉 陸, 坂本 信, 田邊裕治: 3D-3DイメージマッピングによるTKA設置位置評価法, 臨床バイオメカニクス, 35, 143-147, 2014.
18. 坂本 信: 骨の材料試験, 新しい骨形態計測 (監修: 遠藤直人, 編集: 山本智章), ウイネット出版, 161-168, 2014.
19. Kobayashi K, Kai S, Sakamoto M, Tanabe Y, Tokunaga K, Minato I, Sato T, Koga Y: Image registration method for assessing 3D hip alignment and implant position during standing posture, J. Biomech. Sci. Eng., Vol.9, No.2 Special Issue, 13-00162, 2014.
20. Mochizuki T, Sato T, Blaha JD, Tanifuji O, Kobayashi K, Yamagiwa H, Watanabe S, Matsueda M, Koga K, Omori G, Endo N: Kinematics of the knee after unicompartmental arthroplasty is not the same as normal and is similar to the kinematics of the knee with osteoarthritis, Knee Surg. Sports Traumatol. Arthrosc., Vol.22, No.8, 1911-1917, 2014.
21. Mizutani M, Kawakami K, Sadakata M, Kobayashi K, Sakamoto M: Biomechanical effects of push handle heights on upper limbs during attendant propelled wheelchair ramp transportation, Journal of the Japanese Society of Experimental Mechanics, 14, s291-s295, 2014.
22. Kai S, Sato T, Koga Y, Omori G, Kobayashi K, Sakamoto M, Tanabe Y: Automatic construction of an anatomical coordinate system for three-dimensional bone models of the lower extremities - pelvis, femur, and tibia, Journal of Biomech, 47, 1229-1233, 2014.
23. 小林公一, 坂本 信, 田邊裕治, 佐藤 卓, 大森 豪, 古賀良生: MRIボリュームデータのレンダリングによる膝関節の3次元位置推定法, 臨床バイオメカニクス, 35巻, 131-135, 2014.

## 学会発表および研究会発表

1. 大野 健, 内藤健一, 羽田野政義, 能登聖美, **大久保真樹**, 小田野行男:  $^{123}\text{I}$ -MIBG H/M比算出における新しい心筋カウント値計測法の検討. 第70回日本放射線技術学会総会学術大会 2014.04.10-13 (横浜).
2. Yoshida A, Ohkubo M, Kobayashi H, Marasinghe JC, Nuwan DMJ, Murao K, Matsumoto T, Sone S, **Wada S**: Influence of nodule offset in CAD performance evaluation of lung cancer CT screening. 第107回日本医学物理学会学術大会 2014.04.10-13 (横浜).
3. Marasinghe JC, Ohkubo M, **Wada S**, Kobayashi H, Yoshida A, Murao K, Matsumoto T, Sone S: Validation of using PSF-based virtual nodules to assess the basic performances of lung cancer CT screening CAD system. Computer Assisted Radiology and Surgery 28th International Congress and Exhibition (CARS 2014) 2014.06.25-28 (Fukuoka).
4. Ishikawa K, Haneda J, Ohkubo M, Kanazawa T, Okamoto K: Comparison of normal facial nerve detectability on Gd-enhanced three-dimensional T1 fast field echo at 3 T with 1.5 T. 第50回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2014.09.26-28 (神戸).
5. 吉田皓文, **大久保真樹**, Marasinghe JC, 村尾晃平, 松本 徹, **和田真一**: Virtual noduleを用いた胸部CT検診CAD-QAにおけるnodule offsetの影響: ファントム模擬結節による検証. 第4回東北放射線医療技術学術大会 2014.10.25-26 (新潟).
6. 潤間励子, 村尾晃平, **和田真一**, 五味志保, 津田雪裕, 村松禎久, 松本 徹, 花井耕造, 長尾啓一; 肺がんCT検診認定技師によるCT異常所見検出と医師によるCT読影に関する研修-第1報; 実験計画の概要と途中経過結果の報告. 第21回日本CT検診学会学術集会 2014.2.14-15 (千葉).
7. Satoru Utsunomiya, Satoshi Tanabe, Shinichi Wada, Takahide Hayakawa, Ryuta Sasamoto, Toshifumi Kasahara and Hideo Aoyama: Current situation of the medical physics residency program at Niigata University Medical and Dental Hospital. The 7th KOREA-JAPAN Joint Meeting on Medical Physics, the 108th Meeting of Japan Society of Medical Physics, Sept 25-27, 2014 (Busan, Korea)
8. 宇都宮悟, 棚邊哲史, 阿部英輔, 青山英史, 笠原敏文, 早川岳英, **笹本龍太**, **和田真一**: 新潟大学における医学物理士レジデント教育の展望, 第115回新潟臨床放射線学会, 2014年12月20日(新潟)
9. **関谷 勝**: TPPを考えるー医療分野を中心にー, 第10回にいがた生活保障研究会, (新潟), 2014.6.
10. 岡本昌士, 長谷川和宏, 石井圭史, 下田晴華, 本間隆夫, **関谷 勝**: 新しいslot-scanning X-ray Imager(EOS)による脊椎形状評価における精度, 第48回日本側湾症学会 (盛岡), (ア) 2014.10.30-11.1, 第48回日本側湾症学会演題抄録集, 147
11. 八巻諒人, 宇都宮悟, 渋谷直樹, 青山英史, **笹本龍太**: 呼吸性移動を伴う肺小結節の放射線治療計画に用いる最適なCT画像の検討. 107回日本医学物理学会学術大会, 2014.4.10-13 (横浜).
12. 渋谷直樹, 宇都宮悟, 八巻諒人, 青山英史, **笹本龍太**: IMRT治療計画に対するMLCパラメータ誤差の影響評価. 第107回日本医学物理学会学術大会, 2014.4.10-13 (横浜).
13. **笹本龍太**, 渋谷直樹, 八巻諒人, 重田尚吾, 宇都宮悟, 棚邊哲史: 呼吸同期放射線治療におけるdelay timeの検討. 第114回新潟臨床放射線学会, 2014.7.19 (長岡).
14. 八巻諒人, 宇都宮悟, 棚邊哲史, 渋谷直樹, 重田尚吾, 青山英史, **笹本龍太**: 呼吸性移動を伴う肺小結節の放射線治療計画に用いる最適なCT画像の検討. 第4回東北放射線医療技術学術大会, 2014.10.25-26(新潟).
15. 渋谷直樹, 宇都宮悟, 棚邊哲史, 重田尚吾, 八巻諒人, 青山英史, **笹本龍太**: IMRT治療計画に対するMLCパラメータ誤差の影響評価. 第4回東北放射線医療技術学術大会, 2014.10.25-26 (新潟).
16. 重田尚吾, 宇都宮悟, 棚邊哲史, **大久保真樹**, **和田真一**, 青山英史, **笹本龍太**: 放射線治療計画用CTの空間分解能が線量計算に及ぼす影響. 第115回新潟臨床放射線学会, 2014.12.13 (新潟).
17. 室井僚哉, **李鎔範**, **蔡篤儀**, 弦巻正樹: 不鋭を含む医用X線画像の自動認識法. 電子情報通信学会医用画像研究会, 2014.1.26-27 (那覇).
18. 遠藤 駿, **李鎔範**, **蔡篤儀**, 原 武史: ヒトの視覚特性を考慮したフラクタル次元による胸部X線画像の

- 評価. 電子情報通信学会医用画像研究会, 2014.1.26-27 (那覇).
19. Lee Y, Uchiyama M: Evaluation of physical and psychological burden of subjects in mammography. 12th International Workshop on Breast Imaging, Gifu, Japan, June 29 - July 2, 2014.
  20. 松山江里, 蔡篤儀, 李鎔範, 高橋規之: 冗長型離散ウェーブレット展開係数改良処理によるCR画像の画質改善. 第33回日本医用画像工学会, 2014.7.24-26 (東京).
  21. 大村知己, 李鎔範, 高橋規之, 豊島英仁: 逐次近似応用再構成法による低線量CT灌流画像の視覚評価. 医用画像情報学会平成26年度秋季(第170回)大会, 2014.10.4 (岐阜).
  22. 大野 俊, 李鎔範, 早川岳英, 笹本龍太, 笠原敏文, 成田信浩: 動画像解析による非接触型呼吸モニタリング法の開発. 第42回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2014.10.9-11 (札幌).
  23. 大村知己, 李鎔範, 高橋規之, 佐藤祐一郎, 石田嵩人, 豊島英仁: 線量低減によるCT-perfusionマップの視覚的影響とIR応用方の有用性. 第42回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2014.10.9-11 (札幌).
  24. 高橋規之, 大村知己, 木下俊文, 李鎔範, 松山江里, 豊嶋英仁, 蔡篤儀: 単純CT画像におけるアルツハイマー病診断支援システムの開発. 第42回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2014.10.9-11 (札幌).
  25. 大村知己, 李鎔範, 高橋規之, 佐藤祐一郎, 石田嵩人, 豊島英仁: 頭部4D-CTAにおける逐次近似応用再構成法の有用性. 第4回東北放射線医療技術学術学会, 2014.10.25-26 (新潟).
  26. Omura T, Takahashi N, Toyoshima H, Lee Y, Kinoshita T: How to obtain a digital perfusion phantom to evaluate the effect of iterative reconstruction methods on noise reduction in brain CT perfusion. 100th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America (RSNA2014), Chicago, USA, November 30 - December 5, 2014.
  27. Tsukihara M, Noto Y, Hayakawa T, Saito M: Calculation of dose distribution in radiotherapy by conversion of energy subtracted CT number to electron density with dual energy CT. 日本医学物理学会第107回学術大会(横浜) 2014.4.10.
  28. 高橋直也, 樋口健史, 木口貴雄, 霜越敏和, 広瀬保夫, 渋谷宏行, 橋立英樹: 小児, 青年, 壮年の突然死の死亡時CT. Postmortem CT of sudden death in patients sixty years of age or younger. 第73回日本医学放射線学会総会, 2014.4.10-13. (横浜)
  29. 西浜沙織, 小林嵐志, 鈴木宜子, 南澤奈月, 高橋直也, 大久保真樹, 樋口健史, 広瀬保夫, 渋谷宏行, 橋立英樹: AiCTを用いて測定した脾・腎の体積と重量の比較検討の研究. 第12回オートプシー・イメージング学会学術総会. 2014.8.31. (札幌)
  30. 小林嵐志, 西浜沙織, 鈴木宜子, 南澤奈月, 高橋直也, 大久保真樹, 樋口健史, 広瀬保夫: Personal computer上で動作するDICOM画像体積測定プログラムの開発と検討. 第12回オートプシー・イメージング学会学術総会. 2014.8.31. (札幌)
  31. 林 綾乃, 高橋俊博, 久保田浩平, 渡辺賢一, 張馬梅蕾, 吉田秀義, 各務孝貴, 橋本茉由, 渡辺真由, 太田麻菜, Afrin R., Thandavarayan R., Karuppagounder V., Arumugam S., Pitchaimani V., 野本真由美, 鈴木浩史, 笠原裕之, 田沢周作: 標識脂肪酸および標識糖を用いた糖尿病における腎機能/心機能の評価: 日本薬学会第134年会, 2014.3.29 (熊本)
  32. 渡辺賢一, 張馬梅蕾, Afrin R., Arumugam S., Karuppagounder V., Thandavarayan R., Pitchaimani V., 結城智史, 鈴木浩史, 野本真由美, 中村隆志, 高橋俊博: 不全心筋の脂肪酸代謝について: 第41回新潟核医学懇話会, 2014.4.26 (新潟)
  33. 高橋俊博, 林 綾乃, 久保田浩平, 各務孝貴, 橋本茉由, 渡辺真由, 太田麻菜, 吉田秀義, 渡辺賢一, 張馬梅蕾, Afrin R., Karuppagounder V., Arumugam S., Pitchaimani V., 野本真由美, 鈴木浩史, 田沢周作: 心臓集積性標識薬剤(MIBG)を用いた心機能評価-心機能改善薬の薬効評価-: 第41回新潟核医学懇話会, 2014.4.26 (新潟)
  34. 小林有希子, 沼澤武史, 吉田秀義, 他2名. トモシンセシスの再構成モードの違いによる骨梁描出能の比較 日本放射線技術学会第52回東北部会(第4回東北放射線医療技術学術大会)(2014.10新潟)
  35. 坂上優貴, 小林有希子, 吉田秀義, 他2名. 放射線防護メガネ着用に伴う術者水晶体被曝低減効果について

- て 日本放射線技術学会第52回東北部会 (第4回東北放射線医療技術学術大会) (2014.10新潟)
36. 高橋千春, 吉田秀義 血管造影装置における基準線量測定について, 新潟アンギオ画像研究会 (2014.11.8新潟)
  37. 坂本 信, 小林公一: 関節モデルの弾性接触理論解析, 第26回日本機械学会バイオエンジニアリング講演会, 109-101, 2014.1.12, 仙台.
  38. 小林公一, 坂本 信, 田邊裕治: 一方向透視X線画像とMRIボリュームデータによる膝関節位置推定法. 第26回日本機械学会バイオエンジニアリング講演会, 119-120, 2014.1.12, 仙台.
  39. 小林公一, 坂本 信, 田邊裕治: 膝関節MRIのボリュームレンダリングによるイメージレジストレーション. 日本機械学会第51期北陸信越支部総会・講演会, OS040212, 2014, 射水.
  40. 坂本 信, 春日勇人, 坂井幸子, 小林公一, 遠藤英昭: 主成分分析を用いた三次元歯軸の自動決定, 日本実験力学学会2014年度年次講演会論文集, 358-361, 2014.08.30, 姫路.
  41. 風間清子, 春日勇人, 小林公一, 坂本 信: 前腕の回内・回外に伴う橈骨一尺骨運動の三次元生体内解析, 日本機械学会2014年度年次大会, J0210203, 2014.09.10, 東京.
  42. 坂本 信, 春日勇人, 坂井幸子, 小林公一, 遠藤英昭: 三次元歯軸の自動決定法に関する研究, 日本機械学会2014年度年次大会, J0210204, 2014.09.10, 東京.
  43. 春日勇人, 風間清子, 坂本 信, 小林公一: MRIを用いた中手指関節における接触領域の生体内解析, 日本機械学会2014年度年次大会, J0210205, 2014.09.10, 東京.
  44. 風間清子, 春日勇人, 小林公一, 坂本 信: 回内・回外時の橈骨-尺骨間運動の3次元生体内解析, 第42回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2014.10.09, 札幌.
  45. 水谷 都, 川上健作, 坂本 信, 定方美恵子, 小林公一: 車いすハンドル高さとの降坂移送をする介助者の上肢負担に関する検討, 第41回日本臨床バイオメカニクス学会, 78, 2014.11.21, 奈良.
  46. 風間清子, 春日勇人, 小林公一, 坂本 信: 回内・回外における橈骨一尺骨間運動の三次元生体内解析, 第41回日本臨床バイオメカニクス学会, 96, 2014.11.21, 奈良.
  47. 春日勇人, 風間清子, 坂本 信, 小林公一: MRIを用いた中手指関節における接触領域および関節運動の三次元生体内解析, 第41回日本臨床バイオメカニクス学会, 98, 2014.11.21, 奈良.
  48. 田中翔太, 志賀優太, 林 豊彦, 渡邊 聡, 佐藤 卓, 小林公一, 古賀良生, 大森 豪: MR画像を用いた大腿骨遠位成長軟骨の厚さ分布, 第41回日本臨床バイオメカニクス学会, 157, 2014.11.22, 奈良.
  49. 風間清子, 春日勇人, 小林公一, 坂本 信: 回内・回外に伴う橈尺関節の生体内運動解析, 第27回日本機械学会バイオエンジニアリング講演会, 2015.1.9, 新潟.
  50. 森清友亮, 春日勇人, 風間清子, 坂本 信, 小林公一, 田邊裕治: 中手指節関節の接触挙動の生体内解析, 第27回日本機械学会バイオエンジニアリング講演会, 2015.1.9, 新潟.
  51. Kobayashi K, Sakamoto M, Tanabe Y, Omori G, Koga Y: Validation of Image Registration Technique for In Vivo Evaluation of Tibiofemoral Articular Contact, 7th World Congress of Biomechanics, 2014.7.6-11, Boston, USA.
  52. Sakamoto M, Kobayashi K: Estimation of Contact Stress on Joint Surface Using the Axisymmetric Mechanical Model, 7th World Congress of Biomechanics, 2014.7.6-11, Boston, USA.
  53. 羽田野政義, 内藤健一, 大野 健, 山賀敏彦, 山崎芳裕, 佐藤俊輔, 田村博文, 田村厚司, 布施富雄: <sup>201</sup>Tl心筋撮影における2Peak撮像の他施設間検討 第一報. 日本核医学技術学会第20回東北地方会総会学術大会, 2014.10.4 (山形).
  54. 山賀敏彦, 山崎芳裕, 佐藤俊輔, 田村博文, 田村厚司, 布施富雄, 羽田野政義, 内藤健一, 大野健: <sup>201</sup>Tl心筋撮影における2Peak撮像の他施設間検討 第二報. 日本核医学技術学会第20回東北地方会総会学術大会, 2014.10.4 (山形).
  55. 木谷弘幸, 三浦正稔, 白坂直哉, 虻川嘉大, 小野寺忍, 加藤大樹, 山崎芳裕: 心筋SPECT画像表示の検討 -phantomを用いたFROC解析評価-. 第4回東北放射線医療技術学術大会, 2014.10.25 (新潟).
  56. 早川岳英, 山田 巧, 坂井裕則, 笠原敏文: 三次型MLCによる不整形照射野の出力係数の推定, 第4回東



北放射線医療技術学術大会, 2014.10.26 (新潟).

## 検査技術科学専攻

### 著書および学術論文

1. Chinushi M, Saitou O, Furushima H. Radiofrequency catheter ablation of macroreentrant ventricular tachycardia after corrective surgery for tetralogy of Fallot. *Journal of Arrhythmia* 2014;30:222-229.
2. Aizawa Y, Sato M, Ohno S, Horie M, Takatsuki S, Fukuda K, Chinushi M, Usui T, Aonuma K, Hosaka Y, Haissaguerre M, Aizawa Y. Circadian Pattern of Fibrillatory Events in non-Brugada-Type Idiopathic Ventricular Fibrillation with a Focus on J waves. *Heart Rhythm*. 2014;11(12):2261-6.
3. Katsuumi G, Shimizu W, Watanabe H, Noda T, Nogami A, Ohkubo K, Makiyama T, Takehara N, Kawamura Y, Hosaka Y, Sato M, Fukae S, Chinushi M, Oda H, Okabe M, Kimura A, Maemura K, Watanabe I, Kamakura S, Horie M, Aizawa Y, Makita N, Minamino T. Efficacy of bepridil to prevent ventricular fibrillation in severe form of early repolarization syndrome. *Int J Cardiol*. 2014;172(2):519-22.
4. Inoue H, Atarashi H, Okumura K, Yamashita T, Origasa H, Kumagai N, Sakurai M, Kawamura Y, Kubota I, Matsumoto K, Kaneko Y, Ogawa S, Aizawa Y, Chinushi M, Kodama I, Watanabe E, Koretsune Y, Okuyama Y, Shimizu A, Igawa O, Bando S, Fukatani M, Saikawa T, Chishaki A; J-RHYTHM Registry Investigators. Impact of gender on the prognosis of patients with nonvalvular atrial fibrillation. *Am J Cardiol*. 2014;113(6):957-62.
5. Sato A, Watanabe H, Sonoda K, Chinushi M, Tsuda T, Izumi D, Furushima H, Minamino T. Augmentation of the J wave by rapid pacing in a patient with vasospastic angina. *Int J Cardiol*. 2014;172(1):e111-3.
6. 池主雅臣, 斎藤 修, 奥田明子. CKD合併心房細動例における抗凝固療法. *Cardiocoagulation* 2014;1:25-32 メディカルレビュー社
7. 鈴木克弥, 斎藤 修, 阪井絵理伽, 渡部美友貴, 道村玲香, 阿部 望, 奈良輝樹, 田中勇氣, 末永有香, 飯沼宏美, 神林真弓, 大井恵子, 大矢佳奈, 加藤公則, 津田隆志, 池主雅臣. 心拍変動に伴うQT間隔のダイナミクス. *トレッドミル運動負荷試験を用いた検討. 臨床検査技師会誌* 2014;54:212-216
8. 佐藤光希, 渡部 裕, 池主雅臣, 和泉大輔, 小澤拓也, 伊藤英一, 田辺恭彦, 相澤義房, 南野徹. J波と虚血性心室細動の関係. *冠攣縮狭心症における検討. 心電図*2014;34:118-126
9. 斎藤 修, 池主雅臣. 腎デナベーション. 新展開はあるか?手術中に治療効果を予測できるか? *循環器内科*. 2014;74:40-43
10. 斎藤 修, 鈴木克弥, 大矢佳奈, 杉浦広隆, 大塚英明, 池主雅臣. 時系列コンピュータ解析によるJ波高の定量的評価 (日内変動における自律神経興奮の関わり). *新潟県臨床検査技師会誌* 2014;54:150-154
11. 池主雅臣. 循環器の7つの疑問. 不整脈医は抗不整脈薬を使わないか? *Medical ASAHI* 2014;43:18-19
12. 斎藤 修, 池主雅臣. 不整脈治療update. アブレーション治療戦略の新たな段階. 高血圧に対する腎動脈交感神経アブレーション. *医薬ジャーナル* (p179-186) 2014年8月10日発行
13. 池主雅臣. 心臓突然死. 監修:永井良三. 今日の臨床サポート. 永井良三, 福井次矢, 木村健二郎, 上村直実, 桑島巖, 今井靖, 嶋田元, 編. *エルゼビア, ジャパン*, 2014 (ウェブサイト: <http://clinicalsup.jp/jpoc/>)
14. 岩渕三哉, 渡辺 徹, 須貝美佳: 胃内分泌細胞癌. *臨床医のための胃がん病理アトラス*. 安井 弥, 北島政樹, 吉田和弘 (監), 東京, メディカルビュー社, 2014:135-143, 全143ページ.
15. 細井 愛, 黒崎 功, 高野可赴, 皆川昌広, 岩渕三哉, 若井俊文: 原発性多発十二指腸癌を含む異時性4重複癌の1例. *日本臨床外科学会雑誌*. 2014;75(1):250-254.
16. 黒田 毅, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 中野正明, 成田一衛: 全身性エリテマトーデスの

- 初回ステロイド投与におけるスタチンの大腿骨頭壊死予防効果の検討. 中部リウマチ 44(1): 11-13, 2014
17. Kuroda T, Sato H, Nakatsue T, Wada Y, Murakami S, Nakano M, Narita I: Effects of a biologic agent in a patient with rheumatoid arthritis after treatment for methotrexate-associated B-cell lymphoma: a case report. *BMC Research Notes* 7: 229-233, 2014
  18. Sato H, Kobayashi D, Abe A, Ito S, Ishikawa H, Nakazono K, Murasawa A, Kuroda T, Nakano M, Narita I: Tocilizumab treatment safety in rheumatoid arthritis in a patient with multiple sclerosis: a case report. *BMC Research Notes* 7: 641-643, 2014
  19. Peng Ye, P., Mimura J., Okada, T., Sato, H., Liu, T., Maruyama, A., Ohyama, C., and Itoh, K. (2014) Nrf2- and ATF4-dependent up-regulation of xCT modulates the sensitivity of T24 bladder carcinoma cells to proteasome inhibition. *Mol. Cell. Biol.* 34: 3421-3434.
  20. Narita M, Nishizawa Y, Iwaya S, Oiwa E, Iwabuchi M, Uchiyama T, Matsuyama A, Masuko M, Takahashi M. Ustekinumab improves psoriasis without suppressing tumor antigen-specific cytotoxic T lymphocytes. *Int Arch Allergy Immunol.* 2014;165(7):52-60
  21. Takahashi M, Elbarbary RA, Watanabe N, Goto A, Kamiya D, Watabe Y, Uchiyama T, Narita M, Takahashi M, Takahashi Y, Ishihara N, Miyazawa T, Yoshida T, Kawano M, Tamura M, Nashimoto M. Screening of a heptamer-type sgRNA library for potential therapeutic agents against hematological malignancies. *Leukemia Research.* 2014;38(7):808-15
  22. Yamahira A, Narita M, Iwabuchi M, Uchiyama T, Iwaya S, Ohiwa R, Nishizawa Y, Yokoyama Y, Hashimoto S, Takizawa J, Sone, Takahashi M. Activation of the leukemic plasmacytoid dendritic cell line PMDC05by Toho-1, a novel IDO inhibitor. *Anticancer Research.* 2014;34(8):4021-8
  23. 大澤まみ, 松田康伸, 若井俊文, 廣瀬雄己, 坂田 純, 小林 隆, 藤巻 隼, 窪田正幸. 代償性増殖 細胞死に伴う細胞調節 の分子機構. 新潟大学保健学雑誌 2014;11(1):1-6.
  24. 松田康伸, 若井俊文, 廣瀬雄己, 坂田 純, 小林 隆, 大澤まみ, 藤巻 隼, 窪田正幸. 非アルコール性脂肪肝炎関連肝細胞がんにおける活性型p70S6キナーゼの解析. 新潟大学保健学雑誌 2014;11(1):51-56.
  25. Yamagiwa S, Tamura Y, Takamura M, Genda T, Ichida T, Ishikawa T, Kamimura T, Takahashi T, Suda T, Matsuda Y, Nomoto M, Aoyagi Y. Increase of fucosylated alpha-fetoprotein fraction at the onset of autoimmune hepatitis and acute liver failure. *Hepatol Res.* 2014;44(14):E368-75.
  26. Matsuda Y, Wakai T, Kubota M, Osawa M, Hirose Y, Sakata J, Kobayashi T, Fujimaki S, Takamura M, Yamagiwa S, Aoyagi Y. Valproic acid overcomes transforming growth factor- $\beta$ -mediated sorafenib resistance in hepatocellular carcinoma. *Int J Clin Exp Pathol.* 2014;7(4):1299-313.
  27. Yamagiwa S, Sato Y, Ichida T, Setsu T, Tominaga K, Kamimura H, Tsuchiya A, Takamura M, Matsuda Y, Aoyagi Y. Imbalance between CD56+bright and CD56+dim natural killer cell subsets in the liver of patients with recurrent hepatitis C after liver transplantation. *Biomed Res.* 2014;35(3):177-84.
  28. Matsuda Y, Sanpei A, Wakai T, Kubota M, Osawa M, Hirose Y, Sakata J, Kobayashi T, Fujimaki S, Takamura M, Yamagiwa S, Yano M, Ohkoshi S, Aoyagi Y. Hepatitis B virus X stimulates redox signaling through activation of ataxia telangiectasia mutated kinase. *Int J Clin Exp Pathol.* 2014;7(5):2032-43.
  29. Takamura M, Watanabe J, Sakamaki A, Honda Y, Kamimura K, Tsuchiya A, Yamagiwa S, Suda T, Matsuda Y, Aoyagi Y. Alcoholic liver disease complicated by deep bleeding into the muscles or retroperitoneum: report of three cases and a review of the literature. *Intern Med.* 2014;53(16):1763-8.
  30. Nagahashi M, Takabe K, Terracina KP, Soma D, Hirose Y, Kobayashi T, Matsuda Y, Wakai T. Sphingosine-1-phosphate transporters as targets for cancer therapy. *Biomed Res Int.* 2014;2014:651727.
  31. Aso-Ishimoto Y, Yamagiwa S, Ichida T, Miyakawa R, Tomiyama C, Sato Y, Watanabe H, Aoyagi Y. Increased activated natural killer T cells in the liver of patients with advanced stage primary biliary cirrhosis. *Biomed Res,* 2014; 35(2):161-169.
  32. Abo T, Watanabe M, Tomiyama C, Kanda Y. On/off switching of capillary vessel flow controls mitochondrial

- and glycolysis pathways for energy production. *Med Hypotheses*, 2014; 83(1):99-100.
33. 渡邊香奈子: ヒトパレコウイルス. ウイルス, 細菌, 真菌, 寄生虫同定便覧. 菅原隆 (編), 東京, 技術情報協会, 2014:52-54, 全417ページ.
  34. 相澤悠太, 鈴木優子, 渡邊香奈子, 大石智洋, 齋藤昭彦: 新潟県におけるヒトパレコウイルス3型感染症の患者報告の急増. *病原微生物検出情報* 2014;35(9):220.
  35. Detection of *Plasmodium knowlesi* DNA in the urine and faeces of a Japanese macaque (*Macaca fuscata*) over the course of an experimentally induced infection., Kawai S, Sato M, Kato-Hayashi N, Kishi H, Huffman MA, Maeno Y, Culleton R, Nakazawa S., *Malaria Journal*, 2014. DOI:10.1186/1475-2875-13-373
  36. Patterns of trematode infections of *Opisthorchis viverrini* (Opisthorchiidae) and *Haplorchis taichui* (Heterophyidae) in human populations from two villages in Savannakhet Province, Lao PDR., M. Sato, T. Pongvongsa, S. Sanguankiat, T. Yoonuan, J. Kobayashi, B. Boupha, F. Nishimoto, K. Moji, M.O. Sato and J. Waikagul, *Journal of Helminthology*, pp.1-7, 2014. DOI:10.1017/S0022149X14000261
  37. Nematode infection among ruminants in monsoon climate (Ban-Lahanam, Lao PDR) and its role as food-borne zoonosis, Marcello Otake Sato; Megumi Sato; Kittipong Chaisiri; Wanna Maipanich; Tippayarat Yoonuan; Surapol Sanguankiat; Tiengkham Pongvongsa; Bounngong Boupha; Kazuhiko Moji; Jitra Waikagul, *Revista Brasileira de Parasitologia Veterinária*, Vol.23, No.1, pp.80-84, 2014.
  38. 寄生虫学からみたエコヘルス—タイ肝吸虫を例に, サトウ恵, マルセロ, オオタケ, サトウ, 医歯薬出版株式会社, *医学のあゆみ*, Vol.249, No.7, pp.630-634, 2014年05月
  39. Nozaki H, Nishizawa M, Onodera O. Features of cerebral autosomal recessive arteriopathy with subcortical infarcts and leukoencephalopathy. *Stroke*. 2014;45(11):3447-3453.
  40. Yanagimura F, Shimohata T, Tada M, Nozaki H, Nishizawa M. Disease notification and self-determination in treatment decisions for patients with Creutzfeldt-Jacob disease. *Rinsho Shinkeigaku*. 2014;54(4):298-302.
  41. Konno T, Tada M, Tada M, Koyama A, Nozaki H, Harigaya Y, Nishimiya J, Matsunaga A, Yoshikura N, Ishihara K, Arakawa M, Isami A, Okazaki K, Yokoo H, Itoh K, Yoneda M, Kawamura M, Inuzuka T, Takahashi H, Nishizawa M, Onodera O, Kakita A, Ikeuchi T. Haploinsufficiency of CSF-1R and clinicathologic characterization in patients with HDLS. *Neurology*. 2014;82(2):139-148.
  42. 手塚敏之, 西澤正豊, 野崎洋明, 小野寺理. CADASIL, CARASILの病態機序. *血管医学*. 2014;15(1):51-58.
  43. 野崎洋明, 西澤正豊, 小野寺理. CARASILの新しいトピックス. *分子脳血管病*. 2014;13(2):179-181.
  44. 関根有美, 野崎洋明, 西澤正豊, 小野寺理. 病態生理 CADASIL, CARASILの分子病態機序. *日本臨床*. 2014; 72 (増刊5) 最新臨床脳卒中学 (上) :148-152.
  45. 上村昌寛, 野崎洋明, 西澤正豊, 小野寺理. 遺伝性血管性認知症の診断と治療 CADASILとCARASILについて. *日本臨床*. 2014; 72 (増刊7) 最新臨床脳卒中学 (下) :619-623.

## 学会発表および研究会発表

1. 勝海吾郎, 古嶋博司, 和泉大輔, 田川 実, 大槻 総, 長尾智美, 飯嶋賢一, 佐藤光希, 池主雅臣, 南野徹. 皮膚所見を伴わず発熱のみを呈したICDアレルギーの症例. 日本不整脈学会第6回植え込みデバイス関連冬季大会. 平成26年2月21-23日広島
2. 大久保健志, 保坂幸男, 池主雅臣, 高橋和義, 矢野利明, 柏 麻美, 中村則人, 田中孔明, 尾崎和幸, 土田圭一, 三井田努, 小田弘隆. 12誘導心電図とICD-EGMを同時に記録することで, electrical storm の原因となった新たなVT起源を治療できた肥大型心筋症例. 日本不整脈学会第6回植え込みデバイス関連冬季大会. 平成26年2月21-23日広島
3. 池主雅臣, 太刀川仁, 寒河江大介, 佐藤則明, 鈴木克也, 齋藤 修, 大矢佳奈, 神林真弓, 大井恵子, 池

- 主裕子, 山口利夫, 津田隆志. 過剰感地が原因でholter心電図の自動解析結果が不正確となった1例. 日本不整脈学会第6回植え込みデバイス関連冬季大会. 平成26年2月21-23日広島
4. 佐藤光希, 和泉大輔, 石田尚子, 大槻 総, 勝海吾郎, 渡部 裕, 古嶋博司, 池主雅臣, 八木原伸江, 岡田隆, 長谷川進, 南野 徹. 低侵襲血行動態モニタリングを用いたC R T設定の最適化とその効果. 日本不整脈学会第6回植え込みデバイス関連冬季大会. 平成26年2月21-23日広島
  5. Katsuumi G. Watanabe H. Chinushi M. Fukae S. Noda T. Ohkubo K. Nogami A. Hosaka Y. Oda H. Sato M. Okabe M. Aizawa Y. Kimura A. Makiyama T. Horie M. Maemura K. Makita N. Minamino T. Efficacy of Bepridil to Prevent Ventricular Fibrillation in Early Repolarization Syndrome. The 78th Annual scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. March 21-23, 2014 Tokyo
  6. Katsuumi G. Watanabe H. Ikarashi N, Iijima K, Sato A, Izumi D, Furushima H, Chinushi M. Minagawa S, Hatano T, Minamino T. Cerebral Infarction and Cerebral Bleeding in Patients with Atrial Fibrillation during Warfarin Therapy. The 78th Annual scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. March 21-23, 2014 Tokyo
  7. Chinushi M. Hosaka Y, Saitou O, Suzuki K, Yano T, Iwafuchi M. Bipolar and Sequential Unipolar Radiofrequency Ablation for the Treatment of Tachyarrhythmias Originating from Deep Intramyocardial Origin. The 78th Annual scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. March 21-23, 2014 Tokyo
  8. Chinushi M. Izumi D, Iijima K, Suzuki K, Saito O, Furushima H, Satoh A, Tanaka Y, Iwafuchi M. Catheter-based Renal Autonomic Nerve Ablation: Implication of Discrepant Results between Electrical Nerve Stimulation Induced Hemodynamic Response and Histological Examinations. The 78th Annual scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. March 21-23, 2014 Tokyo
  9. 齋藤 修, 鈴木克弥, 阪井絵里伽, 渡邊美友貴, 大矢佳奈, 飯嶋賢一, 和泉大輔, 加藤公則, 池主雅臣. 連続Wavelet周波数解析法を用いた心室細動の電気生理学的特徴の検討.-自然停止VFと持続VFの比較- The 78th Annual scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. March 21-23, 2014 Tokyo
  10. 齋藤 修, 鈴木克弥, 大矢佳奈, 阪井絵里伽, 渡邊美友貴, 田川 実, 中村裕一, 津田隆志, 加藤公則, 池主雅臣. トレッドミル運動負荷試験からみた健常例J波の動向. The 78th Annual scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. March 21-23, 2014 Tokyo
  11. 鈴木克弥, 齋藤 修, 大矢佳奈, 坂井絵理伽, 渡邊美友貴, 大井恵子, 神林真弓, 飯沼裕美, 津田隆志, 加藤公則, 池主雅臣. 体位変換と運動に伴うQT間隔変動とBazett, Fridericia補正 The 78th Annual scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. March 21-23, 2014 Tokyo
  12. 齋藤 修, 鈴木克弥, 大矢佳奈, 杉浦広隆, 池主雅臣. 貫壁性心室筋電位からみた心室細動の電気生理学的特徴 - 連続Wavelet変換法を用いた検討 - 第34回日本ホルター, ノンインベシブ心電学研究会/名古屋 平成26年6月7日
  13. 鈴木克弥, 齋藤 修, 大矢佳奈, 飯沼裕美, 神林真弓, 大井恵子, 津田隆志, 加藤公則, 池主雅臣. 心拍変動に伴うQT間隔変動のダイナミクス. 第34回日本ホルター, ノンインベシブ心電学研究会/名古屋 平成26年6月7日
  14. 勝海悟郎, 渡部 裕, 佐藤光希, 和泉大輔, 古嶋博司, 池主雅臣, 南野 徹. 心室細動を生じた早期再分極症候群における抗不整脈薬の再発予防効果について. 第4回四圍循環器カンファランス. 平成26年7月12日東京
  15. Sato A, Watanabe H, Sonoda K, Chinushi M, Tsuda T, Takahashi K, Izumi D, Minamino T. J-wave augmentation related to shortening of the RR interval in a patient with vasospastic angina and ventricular fibrillation. The 29th annual meeting of the Japanese heart rhythm society. 2014/7/24-25 Tokyo
  16. 内山博子, 田川 実, 山崎健作, 落合幸江, 中村裕一, 池主雅臣. Pilsicainide負荷の通常記録でtype1波形を示さない症例の肋間上心電図波形. The 29th annual meeting of the Japanese heart rhythm society. 2014/7/24-25 Tokyo
  17. 池主雅臣, 齋藤 修, 鈴木克也, 大矢佳奈, 保坂幸男, 柏 麻美. 心筋深層起源の不整脈に対するカテテルアブレーション (bipolar ablation)に関する知見. 第4回新潟不整脈治療カンファランス. 平成26年9

月12日 (新潟)

18. 池主雅臣, 阿部 望, 道村玲香, 奈良佳輝, 田中勇氣, 齋藤 修, 鈴木克弥, 柏 麻美, 保坂幸男. Bipolar高周波通電の焼灼効果と安全性. Dual bathモデルとSingle bathモデルを用いた検討. 第26回日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連秋季大会. 平成26年10月9-11日 新潟
19. 柏 麻美, 保坂幸男, 池主雅臣, 高橋和義, 真田明子, 尾崎和幸, 土田圭一, 藤原裕季, 中村則人, 廣木次郎, 小田弘隆. 失神を伴う心房頻拍とそのtriggerとなる心房頻拍に対してのカテーテルアブレーションが奏功した一例. 第26回日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連秋季大会. 平成26年10月9-11日 新潟
20. 大槻 総, 和泉大輔, 長谷川祐紀, 八木原伸江, 佐藤光希, 渡部 裕, 南野 徹, 池主雅臣. 通常型房室結節リエントリー性頻拍とアデノシン感受性左心房頻拍を合併した1例. 第26回日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連秋季大会. 平成26年10月9-11日 新潟
21. 杉浦広隆, 岡田慎輔, 富井亜佐子, 樋口浩太郎, 大塚英明, 池主雅臣. ATP感受性Koch三角内マクロリエントリー性頻拍の一例. 第26回日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連秋季大会. 平成26年10月9-11日 新潟
22. 保坂幸男, 池主雅臣, 高橋和義, 真田明子, 柏 麻美, 尾崎和幸, 土田圭一, 藤原裕季, 中村則人, 廣木次郎, 小田弘隆. 心室中隔内に2種類の心室頻拍 (VT1/VT2) の共通緩徐伝導路を同定し, 距離をおいた健常右室側からの通電が有効であった陳旧性心筋梗塞症例. 第26回日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連秋季大会. 平成26年10月9-11日 新潟
23. 田川 実, 加藤真帆, 川合 鴨, 落合幸江, 中村裕一, 古嶋博司, 池主雅臣. 化学療法中に房室二重伝導路と傍中隔副伝導路を介する回帰頻拍が頻発して治療に難渋した1例. 12回信越心電図セミナー 平成26年10月25日 妙高
24. 杉浦広隆, 岡田慎輔, 富井亜佐子, 樋口浩太郎, 大塚英明, 池主雅臣. ATP感受性マクロリエントリー性頻拍の一例. 第12回信越心電図セミナー 平成26年10月25日 妙高
25. 長谷川祐紀, 和泉大輔, 大槻 総, 八木原伸江, 佐藤光希, 小澤拓也, 渡部 裕, 池主雅臣, 南野 徹. 心肥大で経過中に持続性心室頻拍を発症し蘇生された1例. 第27回心臓性急死研究会. 平成26年12月20日 東京
26. 田中雄也, 岩渕三哉, 小菅優子, 渡辺 徹: 胆嚢カルチノイド腫瘍 (NET G1) の1例. 第9回NET Work Japan. 2014.1.25. (福岡).
27. 田中雄也, 岩渕三哉, 渡辺 徹, 小菅優子: 胃の管状腺癌と内分泌細胞癌におけるmTOR発現. 第10回日本消化管学会総会学術集会. 2014.2.14-15. (福島).
28. 渡邊智子, 山田 明, 横山義信, 阿部要一, 渡邊佳緒里, 岩渕三哉: 胃癌穿孔による汎発性腹膜炎の2症例の治療経験. 第99回新潟消化器病研究会. 2014.2.22 (新潟).
29. Yusuke Oji, Sebastien Anguille, Nicole Wagner, Eleonora Duregon, Nobuyoshi Hiraoka, Keiko Udaka, Shuichi Izumoto, Satoshi Ohno, Mitsuya Iwafuchi, Hiroshi Ohashi, Martin Lammens, Wim Waelput, Mari Fukuda, Megumi Hori, Naoya Tatsumi, Mai Utada, Tsuyoshi Kato, Richard O'Reilly, Eva Lundin, Daniela Cilloni, Anne Letsch, Eiichi Morii, Yoshihiro Oka, Yuko Ohno, Patrick Pauwels, Yuji Heike, Mauro Papotti, Giuseppe Saglio, Ulrich Keilholz, Zwi N. Berneman, Haruo Sugiyama: Harmonization of immunohistochemical evaluation of WT1 expression and monitoring of WT1-specific humoral immune response. The 7th International Conference on WT1 in Human Neoplasia. 2014.4.22-23 (Barcelona).
30. 岩渕三哉, 田中雄也, 小菅優子, 渡辺 徹: 消化管内分泌細胞腫瘍の日本の分類と2010年WHO分類の対比. 第86回日本胃癌学会総会. 2014.3.20-22. (横浜).
31. 岩渕三哉, 田中雄也, 小菅優子, 渡辺 徹: パネルディスカッション「消化管内分泌性腫瘍の診断と治療」消化管内分泌細胞腫瘍の病理診断と問題点. 第86回日本胃癌学会総会. 2014.3.20-22. (横浜).
32. Yuuya Tanaka, Mitsuya Iwafuchi, Yuuko Kosuge, Tooru Watanabe: Immunohistochemical study of mTOR expression of the gastric carcinoma. 第86回日本胃癌学会総会. 2014.3.20-22. (横浜).

33. 田中雄也, 岩淵三哉, 小菅優子: 胃癌におけるmTOR発現の特徴. 第103回日本病理学会総会.2014.4.24-26 (広島).
34. 小林雄司, 竹内 学, 横山純二, 佐藤祐一, 水野研一, 山本 幹, 本田 穰, 橋本 哲, 小林正明, 味岡洋一, 西倉 健, 岩淵三哉: カルチノイドと腺癌の直腸衝突腫瘍の1例. 第76回日本消化器内視鏡学会甲信越支部例会 (地方会). 2014.5.25 (新潟).
35. 西田浩彰, 本間慶一, 川崎 隆, 岩淵三哉, 須藤真則, 船越和博: 膵神経内分泌腫瘍の一例. 第79回日本病理学会東北支部総会/学術集会. 2014.7.19-20 (盛岡).
36. 田中雄也, 岩淵三哉, 渡辺 徹, 小菅優子: 胃癌におけるmTOR発現の特徴.第9回日本臨床検査学教育学会学術大会. 2014.8.20-21. (東京).
37. Yuuki Nishigaki, Yuichi Sato, Mitsuya lwafuchi, Yutaka Aoyagi: Hepcidin was expressed not only in the cytoplasm but also intracellular canaliculi of gastric parietal cells. 22nd United European Gastroenterology Week. 2014.10.18-22. Vienna, Austria.
38. 岩淵三哉, 田中雄也, 小菅優子, 渡辺 徹: シンポジウム「神経内分泌腫瘍の病理診断: 現状と課題」消化管神経内分泌腫瘍の病理診断: 現状と課題. 第18回日本内分泌病理学会学術総会.2014.11.1-2. (東京).
39. 黒田 毅, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 中野正明, 山田俊幸, 成田一衛: 尿検査による腎アミロイドーシスの診断法および腎臓内のアミロイドの動態について. 第58回日本リウマチ学会総会, 学術集会, 2014.04.24-26 (東京)
40. 中枝武司, 佐藤弘恵, 和田庸子, 村上修一, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: ANCA陽性中耳炎14例の検討. 第58回日本リウマチ学会総会, 学術集会, 2014.04.24-26 (東京)
41. 和田庸子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 村上修一, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: 全身性エリテマトーデスにおける尿中免疫細胞数は, 疾患活動性と腎機能障害を反映する. 第58回日本リウマチ学会総会, 学術集会, 2014.04.24-26 (東京)
42. 藤澤純一, 近藤直樹, 中野正明, 黒田 毅, 村上修一, 和田庸子, 中枝武司, 佐藤弘恵, 荒井勝光, 根津貴広, 遠藤直人: 当院における生物学的製剤の有効性と継続性の検討-2014年版-. 第58回日本リウマチ学会総会, 学術集会, 2014.04.24-26 (東京)
43. 佐藤弘恵, 近藤直樹, 藤澤純一, 荒井勝光, 遠藤直人, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: ビスホスホネート使用膠原病患者におけるX線上過剰骨代謝回転抑制 (SSBT-Xp) 所見と大腿骨外弯変形との関係. 第58回日本リウマチ学会総会, 学術集会, 2014.04.24-26 (東京)
44. 中野正明, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 黒田 毅, 成田一衛: 各種膠原病におけるアンジオテンシン変換酵素2に対する自己抗体の検索. Rheumatology Conference 2014, 2014.05.31 (東京)
45. 佐藤弘恵, 大塚忠司, 中枝武司, 和田庸子, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: TRAPS (TNF receptor-associated periodic syndrome)が疑われた成人女性の一例. 第98回膠原病研究会, 2014.06.03 (新潟)
46. 和田庸子, 坂爪 実, 佐藤弘恵, 中枝武司, 中野正明, 成田一衛: 全身性エリテマトーデスにおける尿中免疫細胞解析の有用性. 第57回日本腎臓学会学術総会, 2014.07.04-06 (横浜)
47. 中野正明: RAの臓器障害の留意点: 腎臓. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
48. 和田庸子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: 顕微鏡的多発血管炎における尿中免疫細胞解析の有用性について. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
49. 黒田 毅, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 中野正明, 成田一衛: 全身性エリテマトーデスの初回ステロイド投与における体格指数と大腿骨頭壊死の検討. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
50. 佐藤容子, 和田庸子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: 腸管嚢胞様気腫症を合併した全身性エリテマトーデスの1例. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
51. 三ツ間友里恵, 和田庸子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: 全身性エリテマトーデスの初発時に血球貪食症候群の合併が疑われた一例. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
52. 吉澤優太, 中枝武司, 佐藤弘恵, 和田庸子, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛: インフリキシマブ開始後にネフローゼ症候群を発症した乾癬性関節炎の一例. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)

53. 若杉正嗣, 近藤直樹, 藤澤純一, 工藤尚子, 黒田 毅, **中野正明**, 遠藤直人: 転子部滑液包炎により急速な進行をたどった破壊性股関節症の1例. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
54. 近藤直樹, 佐藤弘恵, 和田庸子, 中枝武司, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛, 遠藤直人: 長期ステロイド内服膠原病患者のビスホスホネート製剤使用例における非定型大腿骨不全骨折(healing)の発生頻度. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
55. 佐藤弘恵, 伊藤 聡, 中園 清, 中枝武司, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 半定量法によるプロカルシトニンが偽陽性だった関節リウマチ症例の検討. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
56. 黒田 毅, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, **中野正明**, 成田一衛: メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患治療後に生物学的製剤の選択に苦慮した関節リウマチの一例. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
57. 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 自然軽快する発熱を繰り返すTRAPSが疑われた成人女性の一例. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
58. 和田庸子, 高村紗由里, 坂井俊介, 佐藤弘恵, 中枝武司, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 2度の子宮内胎児死亡の後に生児を得た, 全身性エリテマトーデス合併抗リン脂質抗体症候群の1例. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
59. 坂井俊介, 和田庸子, 高村紗由里, 佐藤弘恵, 中枝武司, 河本啓介, 柴崎康彦, 森山雅人, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 多彩な自己抗体陽性の血栓性血小板減少性紫斑病に, 二重膜濾過血漿交換を施行した1例. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
60. 須藤真則, 中枝武司, 佐藤弘恵, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 両側中耳炎, 右顔面神経麻痺で発症した多発血管炎性肉芽腫症の1例. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
61. 中枝武司, 坂井俊介, 高村紗由里, 佐藤弘恵, 和田庸子, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 再発性多発軟骨炎にアダリムマブが奏功した一例. 第26回中部リウマチ学会, 2014.08.29-30 (新潟)
62. 吉澤優太, 中枝武司, 大塚忠司, 佐藤弘恵, 和田庸子, 今井直史, 伊藤由美, **中野正明**, 成田一衛: インフリキシマブ開始後にネフローゼ症候群を発症した乾癬性関節炎の一例. 第44回日本腎臓学会東部学術大会, 2014.10.24-25 (東京)
63. 若松(相馬)彩子, 後藤 慧, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 成田一衛, 黒田 毅, **中野正明**: エタネルセプト開始後8年で皮膚筋炎を発症した関節リウマチの一例. 第99回膠原病研究会, 2014.11.04 (新潟)
64. **佐藤英世**, シスチン, グルタミン酸トランスポーター (x<sub>c</sub><sup>-</sup>系) の生理機能 日本過酸化脂質, 抗酸化物質学会第22回年会 (2014年8月) 仙台
65. 佐藤茉美, 小宮山裕平, 浜島真司, 佐々木知, 筒井拓己, 小林翔, 平竹 潤, 坂内四郎, **佐藤英世** シスチン, グルタミン酸トランスポーター (x<sub>c</sub><sup>-</sup>系) に対するerastinの阻害特性 第37回日本分子生物学会 (2014年11月) 横浜
66. Takahashi M, Iwabuchi M, Satoh N, Uchiyama T, Iwaya S, Oiwa E, Nishizawa Y, Hashimoto S, Brook B, Emmanuelle FK, Kasahara N, Narita M: Potentiation of antigen-specific CTL generation by caTLR4 gene transduction into leukemic plasmacytoid dendritic cell line (PMDC11). 101th Annual Meeting, the American Association of Immunologists. May 2-6, 2014 Pittsburgh.
67. 森山雅人, 玉木悦子, 松本雅則, 石西綾美, 松本吉史, 富永麻理恵, 工藤理沙, 安達聡介, 生野寿史, 高桑好一, 宮腰淑子, 小堺貴司, 小林弘典, 牛木隆志, 柴崎康彦, 増子正義, 瀧澤 淳, **成田美和子**, 曾根博仁, 西條康夫: 妊娠を契機に診断されたUpshaw-Schlman症候群症例における第二子妊娠の周産期管理. 第37回日本血栓止血学会 2014.5.21-2. (甲府)
68. Shibasaki Y, Tanaka T, Miyakoshi S, Fuse K, Kozakai T, Kobayashi N, Ushiki T, Moriyama M, Takizawa J, Narita M, Takahashi M, Sone H, Masuko M: The association of reduction of WT1 transcripts in bone marrow and outcomes in acute myeloid leukemia patients. The 5th JSH International Symposium 2014.5.24-25. (浜松)

69. 坪谷隆介, 小林弘典, 柴崎康彦, 牛木隆志, 森山雅人, 増子正義, 滝澤 淳, 成田美和子, 曾根博仁: 骨髄原発composite lymphoma の1例. 第134回日本内科学会信越地方会. 2014.6.7. (新潟)
70. 瀧澤 淳, 小林弘典, 柴崎康彦, 森山雅人, 増子正義, 曾根博仁, 成田美和子, 大湊 絢, 張 大行, 尾山徳秀, 福地健郎, 青木定夫, 中村直哉, 大島孝一: MALTリンパ腫 65 例の臨床病理学的検討. 第54回日本リンパ網内系学会総会. 2014.6.20. (山形)
71. 内山孝由, 成田美和子, 岩谷俊平, 大岩恵理, 西澤幹則, 橋本誠雄, 瀧澤 淳, Kasahara Noriyuki, 高橋益廣: 白血病性形質細胞様樹状細胞株PMDC11由来エクソソームの同定とそれを用いた抗原特異的細胞傷害性T細胞の誘導. 第24回日本樹状細胞研究会2014.6.20. (山形)
72. Takahashi M, Iwabuchi M, Uchiyama T, Iwaya S, Oiwa E, Nishizawa Y, Hashimoto S, Bonehill A, Kasahara N, Narita M: caTLR4 gene-transduced leukemic plasmacytoid dendritic cell line (PMDC11) as a potent antigen presenting cells for immunotherapy. The 13th International Symposium on Dendritic Cells. Sept. 14-18, 2014 Tours
73. Itagaki Y, Okeyo K, Kurosawa O, Oana H, Narita M, Kotera H, Washizu M. Cytoplasmic transfer without nuclei mixing between dendritic cells and tumor cells achieved by one-to-one electrofusion via microorifices in a microfluidic device. International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences (MicroTAS 2014) Oct 26-30, 2014 San Antonio
74. Shibasaki Y, Kobayashi H, Ushiki T, Moriyama M, Takizawa J, Narita M, Sone H, Masuko M: Clinical value of methods of adjusting DLCO for Hb on the HCT-CI.第76回日本血液学会学術集会. 2014.10.31.(大阪)
75. Nanba A, Heianza Y, Shibasaki Y, Kobayashi Y, Ushiki T, Moriyama M, Takizawa J, Narita M, Tsuji H, Arase Y, Masuko M, Sone H: A cross-sectional study of anemia in a large cohort of apparently healthy japanese men and women. 第76回日本血液学会学術集会 2014.10.31. (大阪)
76. Shibasaki Y, Seki Y, Tanaka T, Miyakoshi S, Kozakai T, Kobayashi H, Ushiki T, Abe T, Yano T, Moriyama M, Kuroha T, Isahai N, Takizawa J, Narita M, Koyama K, Furukawa T, Sone H, Masuko M: Log reduction levels of WT1 mRNA Expression in BM after chemotherapies are predictive markers of good prognosis in AML patients achieved CR after induction therapy. 56th Annual Meeting of American Society of Hematology. Dec 6-9,2014 San Francisco
77. Iwaya S, Narita M, Masuko M, Nishizawa Y, Ida T, Oiwa E, Shibasaki Y, Uchiyama T, Sone H, Takahashi M: The usage of T cell receptor  $\beta$ -chain variable region of WT1 specific cytotoxic T lymphocytes in CML patient treated WT1 peptide vaccination. 第43回日本免疫学会 2014.12.10-12. (京都)
78. Oiwa E, Narita M, Iwaya S, Nishizawa Y, Uchiyama T, Takahashi M: Direct cytotoxicity of leukemic plasmacytoid dendritic cell line (PMDC05) stimulated with OK432 and IFN- $\gamma$ . 第43回日本免疫学会 2014.12.10-12. (京都)
79. Nishizawa Y, Narita M, Uchiyama T, Iwaya S, Oiwa E, Takahashi M: Efficient amplification of  $\gamma \delta$  T cell by PMDC11 cells treated with zoledronic acid. 第43回日本免疫学会 2014.12.10-12. (京都)
80. Uchiyama T, Narita M, Iwaya S, Nishizawa Y, Oiwa E, Takahashi M: Identification of exosomes secreted by plasmacytoid dendritic cell line (PMDC11) and generation of antigen specific cytotoxic T lymphocytes (CTLs) by the stimulation with the exosomes. 第43回日本免疫学会 2014.12.10-12. (京都)
81. 松田康伸: 一般演題発表. 第73回日本癌学会学術会. 平成26年9月25-27日 (横浜)
82. Ikajima A, Tomiyama C, Watanabe H. Estrogen inhibited liver injury in Concanavalin A-induced hepatitis mice. —Focused on dendritic cells in the liver— 第43回日本免疫学会学術集会, 2014.12.10-12 (京都)
83. 相澤悠太, 楡井 淳, 渡邊香奈子, 鈴木優子, 齋藤昭彦: ヒトパレコウイルス3型感染症による早産時の無呼吸発作. 第55回日本臨床ウイルス学会. 2014.6.14-15. (札幌).
84. 鈴木英明, 山崎 恒, 小林浩二, 渡邊香奈子, 笠原 聡, 大山富三, 木村 明: 新潟県内臨床検査技師養成学校の学生における就職に関する意識. 第9回日本臨床検査学教育学会学術大会. 2014.8.20-22.(東京).
85. Aizawa Y, Watanabe K, Oishi T, Hirano H, Hasegawa I, Saitoh A: Role of Maternal Antibodies in Human



- Parechovirus Type 3 Infection in Young Infants. IDWeek 2014. October 8-12, 2014 (Philadelphia).
86. 相澤悠太, 渡邊香奈子, 大石智洋, 平野春伸, 長谷川功, 齋藤昭彦: 乳児早期のヒトパレコウイルス3型感染症における移行抗体の役割. 第46回小児感染症学会学術集会. 2014.10.18-19. (東京).
  87. Nematode infection among ruminants in monsoon climate (Ban-Lahanam, Lao PDR) and its role as food-borne zoonosis. Tippayarat Yoonuan, Marcello Otake Sato, Megumi Sato, Kittipong Chaisiri, Wanna Maipanich, Surapol Sanguankiat, Tiengkham Pongvongsa, Bounngong Boupna, Kazuhiko Moji, Jitra Waikagul. 第55回日本熱帯医学会大会 (東京)
  88. Occurrence of Amphistomes in Lao PDR Livestock. Surapol Sanguankiat, Marcello Otake Sato, Megumi Sato, Wanna Maipanich, Tippayarat Yoonuan, Tiengkham Pongvongsa, Bounngong Boupna, Kazuhiko Moji, Jitra Waikagul. 第55回日本熱帯医学会大会 (東京)
  89. 野崎洋明. HTRA1遺伝子多型が脳小血管病の発症に与える影響の検討. 遺伝性脳小血管病およびその類縁疾患の診断基準の確立と治療法の研究班. 2014.3.9. (京都)
  90. Yumi Sekine, Taisuke Kato, Hiroaki Nozaki, Sachiko Hirokawa, Toshiya Sato, Atsushi Shiga, Toshikuni Sasaoka, Masatoyo Nishizawa, Osamu Onodera. Excess TGF- $\beta$  1 secreted from astrocytes impair mural cells in cerebral small arteries. 55<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology, May 21-24, 2014 Fukuoka.
  91. 野崎洋明. HTRA1変異ヘテロ接合体における脳小血管病発症機序の解明. 新潟脳神経研究会第302回例会. 2014.6.24. (新潟)
  92. 野崎洋明, 加藤泰介, 齋藤洋兵, 小山哲秀, 西澤正豊, 小野寺理. HTRA1遺伝子変異のヘテロ接合体は, 優性阻害効果によって脳小血管病を引き起こす. 第33回日本認知症学会学術集会. 2014.11.29-12.1. (東京)